

【気になる話題 ～今年のマイコプラズマ肺炎について～】

・全国の発生状況

マイコプラズマ肺炎は、細胞壁を持たない細菌に属する、肺炎マイコプラズマ (*Mycoplasma pneumoniae*) を病原体とする呼吸器感染症です。感染経路は、飛沫感染や接触感染です。今年はこのマイコプラズマ肺炎の報告数が過去 10 年に比べ、著しく多くなっています (図 1)。

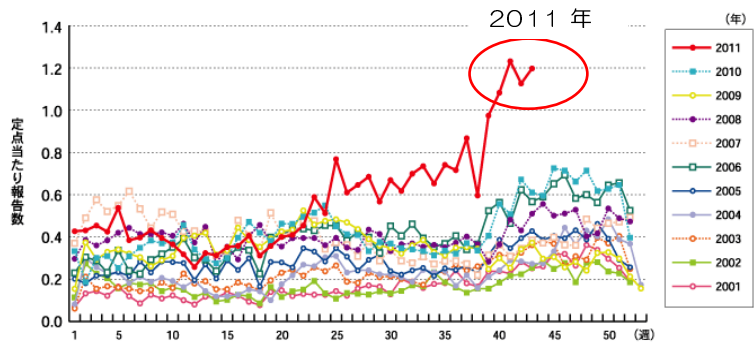


図1. 全国のマイコプラズマ肺炎の年次変化(2001～2011年)  
(IDWR 感染症発生動向調査週報から引用)

・都道府県別の状況

定点当たりの報告数を都道府県別に見てみますと、赤丸で示した地域においては、全国平均と比べ明らかに報告数が多く、また、全国に分散しているのが見取れます。

近畿圏では、大阪府から多数の報告があります (図 2)。

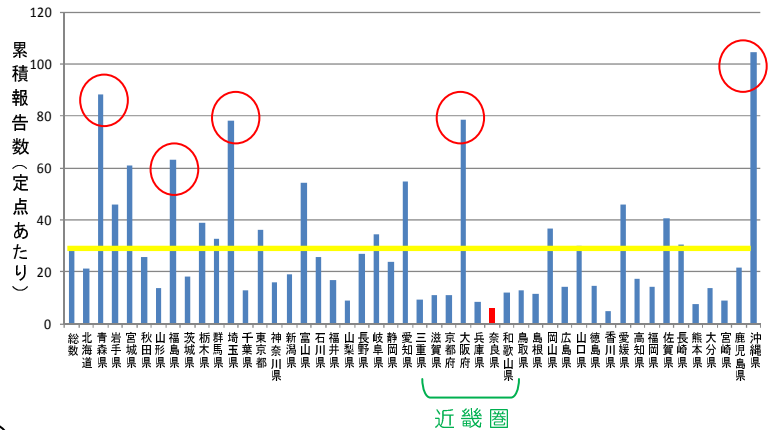


図2. 都道府県別定点当たり累積報告数(2011年第46週まで)  
(IDWR 感染症発生動向調査週報データより作成)



・奈良県の状況

今年の報告数は、1週間当たり0～4例で例年と大差ない状況です(図3)。しかし、本県は、大阪府と通勤・生活圏を共有している地域があり、今後の動向に注意が必要です。

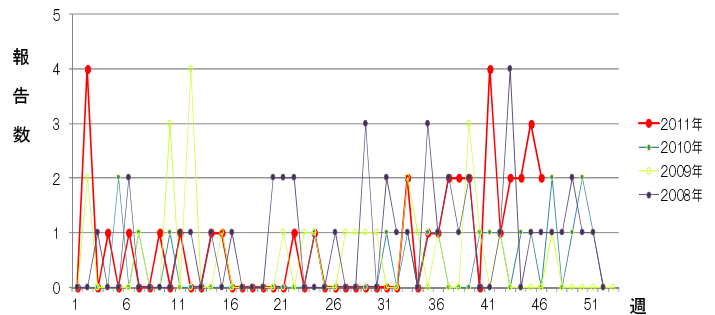


図3. 奈良県の年別発生状況(2008～2011年)

(参考) 国立感染症研究所感染症情報センター「マイコプラズマ肺炎」

<http://idsc.nih.go.jp/disease/mycoplasma/index.html>

(感染症情報センター 記)